

# 本と仕事の関係は？

## 若手経済人トークイベント

### 市民100人聞き入る

八戸

各界で活躍する若手経済人らに本と仕事の関係などを語ってもらったトークイベントが22日、八戸市の八戸ポータルミュージアムはつちで開かれた。3人のゲスト



本と仕事の関わりについて語り合うゲスト(壇上右3人)とコーディネーター(同左2人)

トと2人のコーディネーターが、本の読み方や仕事への影響などを語り合った。八戸ブックセンターが八戸学院地域連携研究センターと開いた。ライフネット

生命を立ち上げたベンチャー投資家の吉沢康弘さん、GOBIIP創業者の櫻井亮さん、「言葉にできる」は武器になる。「著者でコピーライターの梅田悟司さん

の3人がゲスト。任天堂Wiiの企画担当だった八戸学院大学学長補佐・玉樹真一郎さん、代官山薫屋書

店から同センターに移り選書を担当する半谷佳正さんが聞き手を務めた。

読み方について櫻井さんは「テーマを決め関連する本を5冊は読む。書いてあることが違っても相互の関連が見える」と提案。梅田さんは「子供と違い、大人は自分を刺激し気持ちを動かすために読書する。そんな部分を見つけたらメモを書き込む」とした。

吉沢さんも「インパクトあるページを折ったりメモを書いたりとぼろぼろにしちゃう。それをSNS(会員制交流サイト)で発信すると人とのつながりが生まれる」と特徴的な読書法を紹介。会場には100人近い市民が訪れ、熱心に聞き入っていた。(若松清巳)